

学習指導要領の趣旨を実現するための学習・指導方法及び
評価方法の工夫改善に関する実践研究

＜研究主題＞
共に学びながら表現したり鑑賞したりする児童の育成





研究体制

弘前大学教育実践 協同研究推進委員会

附属小学校

校長・副校長
教頭・主幹教諭

研究主任

企画
運営
研究部員十各教科部主任

各教科・領域研究部

国語科教育研究部

社会科教育研究部

算数科教育研究部

理科教育研究部

音楽科教育研究部

図画工作科教育研究部

家庭科教育研究部

体育科教育研究部

道德教育研究部

外国語活動教育研究部

教育学部

国語教育

社会科教育

数学教育

理科教育

音楽教育

美術教育

保健体育

技術教育

家政教育

英語教育

学校教育

教育保健

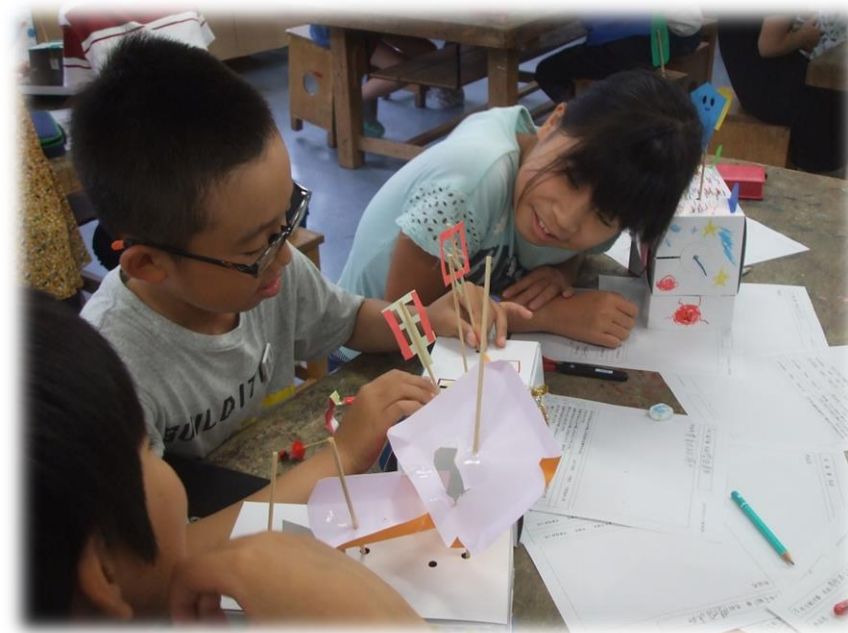
附属中学校

附属幼稚園

附属特別支援学校

発表内容

- 1 研究主題について
- 2 研究内容及び具体的な研究活動について
 - ①視点を明確にした言語活動の設定
 - ②多様性を踏まえた題材の設定
- 3 成果と課題
- 4 今後の取組



1 研究主題について

研究主題

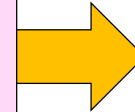
共に学びながら表現したり鑑賞したりする児童の育成

1 年次

- ・ 表現及び鑑賞に関する資質・能力の関連
- ・ 見通しや振り返りを重視した学習活動の展開

成果

- ・ 視点を明確にした発問の工夫
- ・ 共に考えたり活動したりする場の設定
- ・ 図工ノートの活用

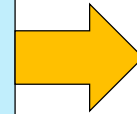


◎「思考力，判断力，表現力等」の育成
◎学習活動の振り返り

1 研究主題について

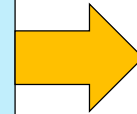
課題

・ 発問の視点を明確にしきれなかった



○話し合ったことをその後の活動に関連付けられなかった

・ 適切な場面で言語活動をできなかった



○十分な活動の時間を確保できなかった

1 研究主題について

研究主題

共に学びながら表現したり鑑賞したりする児童の育成

研究内容

① 視点を明確にした言語活動の設定

② 多様性を踏まえた題材の設定

2 研究内容及び具体的な研究活動について

① 視点を明確にした言語活動の設定

① 視点を明確にした言語活動の設定

新学習指導要領を基に「資質・能力についての三角の図」を作成

- ア 活動の見通しをもつための言語活動
- イ 製作途中の鑑賞を基にした発想や構想につながる言語活動



絵や立体，工作 うつして見つけて（2年，絵） （低学年）

発想や構想をする

- ・（感じたこと，想像したことから，表したいことを見付けること。）
- ・版の形や色を基に感じたこと，想像したことから，表したいことを見付けること
- ・（好きな形や色を選んだり，いろいろな形や色を考えたりしながら，どのように表すかについて考えること。）
- ・好きな形や色を選んで版画をしたり，クレヨンでかき加えたりしながら，どのように表すかについて考えること。

ローラー遊びをして，使うことに慣れる場面をつくる。

ローラー遊びの場面で，版画インクの適切な量や刷るときインクの量の調整の仕方を知らせる。

児童の表したいものに合わせて型の切り方を助言する（型を切り取る，型を切り抜く）。

技能を働かせて表す

- ・（身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れる。）
- ・ローラーや版を使った版画の写し方に慣れる。
- ・（手や体全体の感覚などを働かせ，表したいことを基に表し方を工夫して表すこと。）
- ・ローラー遊びで試しながら，表したいことを基に版を繰り返したり重ねたり反転させたりなど工夫して表す。
- ・版画の形や色を基に感じたり想像して思い付いたことを，クレヨンでかき加えて工夫して表すこと

版には，何度も試したり繰り返したりできるようにするため，0.10mmのクリアファイルを切り開いた透明シートを使う。

適切なインクの量を誰でもインクボトルから絞り出せるようジャンプの空き容器を利用した。

（自分の感覚や行為を通して，形や色などに気付く。）

- ・ローラーと版を使って型紙版画をすることを通して，版の形や色に気付く。
- ・版の形や色から心の中につくり出した像を基に，つくりたい版の形や色に気付く。

形や色などを基に，自分のイメージをもつ。

- ・写した版の形や色の様子を基に，自分が表したいイメージをもつ。

ローラーや練り版や版画インクや作業台を一緒に使って活動し，互いの活動について間近で見ることができるようにする。

色や版の重ね方等で困っている児童に声がけをして，友達や友達の作品と関わって解決していきけるようにする。

版の置き方や刷り方等について児童の気づきや工夫した表現を見付け，そのよさを他の児童にも紹介する。

自分の表したいことに合わせて凹版か凸版や色を考えている子が多く，友達の凹版凸版を見ることを勧めた。

鑑賞する

- ・（自分たちの作品や身近な材料などの造形的な面白さや楽しさ，表したいこと，表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げること。）
- ・自分や友達の作品の面白さや楽しさ，表し方について，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や考え方を広げること

友達の作品と並べて，お互いの作品の面白さやよさについて感じ取ったり考えたりしたことを話したり聞いたりする場面を設ける。

絵や立体，工作
（低学年）

うっして見つけて（2年，絵）

発想や構想をする

- ・（感じたこと，想像したことを表現したいことを見付けること。）
- ・版の形や色を基に感じたり想像したりすることから，表現したいことを見付けること
- ・（好きな形や色を選んだり，いろいろな形や色を考えたりしながら，どのように表すかについて考えること。）
- ・好きな形や色を選んだり，いろいろな形や色を考え加えたりしながら，どのように表すかについて考えること。

A表現(1)

発想や構想

（自分の感覚や行為を通して，形や色などに気付く。）

- ・ローラーや版を使って型紙版画をすることを通して，版の形や色に気付く。
- ・版の形や色から思い浮かべたイメージを基に，つくりたい版の形や色に気付く。

〔共通事項〕(1)ア

（自分のイメージを表現したい。）

- ・写した型紙の形や色を基に，自分が表現したいイメージをもつ。

〔共通事項〕(1)イ

技能を働かせて表す

- ・（身近で扱いやすい材料や道具に十分に慣れる。）
- ・ローラーや版を使って思い浮かべたイメージを表現する。
- ・（手や体全体の動きや姿勢を調整して，表現したいことを基に表現方法を工夫して表すこと。）
- ・ローラー遊びで試しながら，表現したいことを基に版を繰り返したり重ねたり反転させたりして工夫して表す。
- ・版画の形や色を基に感じたり想像して思い付いたことを，クレヨンでかき加えて工夫して表すこと

A表現(2)

技能

鑑賞する

- ・（自分たちの作品や身近な材料などの造形的な面白さや楽しさ，表現した方法などについて，感じ取ったり表現した方法について，自分の見方や感じ方を広げること。）
- ・自分や友達の作品の面白さ，表現方法について，感じ取ったり表現した方法について，自分の見方や考え方を広げること

B鑑賞(1)

鑑賞

A表現(1) 発想や構想

低学年の
指導事項

発想や構想をする

- ・ (感じたこと，想像したことから，表したいことを見付けること。)
- ・ 版の形や色を基に感じたこと，想像したことから，表したいことを見付けること
- ・ (好きな形や色を選んだり，いろいろな形や色を考えたりしながら，どのように表すかについて考えること。)
- ・好きな形や色を選んで版画をしたり，クレヨンでかき加えたりしながら，どのように表すかについて考えること。

うつして見つけて (2年，絵)

A表現(1) 発想や構想

発想や構想をする

- ・ (感じたこと，想像したことから，表したいことを見付けること。)
- ・ 版の形や色を基に感じたこと，想像したことから，表したいことを見付けること
- ・ (好きな形や色を選んだり，いろいろな形や色を考えたりしながら，どのように表すかについて考えること。)
- ・好きな形や色を選んで版画をしたり，クレヨンでかき加えたりしながら，どのように表すかについて考えること。

題材に合
わせたも
の

絵や立体, 工作 (低学年)

うっして見つけて (2年, 絵)

発想や構想をする

- ・ (感じたこと, 想像したこと, 表したいことを見付けること。)
- ・ 版の形や色を基に感じたこと, 想像したこと, 表したいことを見付けること
- ・ (好きな形や色を選んだり, いろいろな形や色を考えたりしながら, どのように表すかについて考えること。)
- ・ 好きな形や色を選んで版画をしたり, クレヨンでかき加えたりしながら, どのように表すかについて考えること。

ローラー遊びをして, 使うことに慣れる場面をつくる。

ローラー遊びの場面で, 版画インクの適切な量や刷るときインクの量の調整の仕方を知らせる。

児童の表したいものに合わせて型の切り方を助言する (型を切り取る, 型を切り抜く)。

技能を働かせて表す

- ・ (身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れる。)
- ・ ローラーや版を使った版画の写し方に慣れる。
- ・ (手や体全体の感覚などを働かせ, 表したいことを基に表し方を工夫して表すこと。)
- ・ ローラー遊びで試しながら, 表したいことを基に版を繰り返したり重ねたり反転させたりなど工夫して表す。
- ・ 版画の形や色を基に感じたり想像して思い付いたことを, クレヨンでかき加えて工夫して表すこと

版には, 何度も試したり繰り返したりできるようにするため, 0.10mmのクリアファイルを切り開いた透明シートを使う。

適切なインクの量を誰でもインクボトルから絞り出せるようシャンプーの空き容器を利用した。

ローラーや練り版や版画インクや作業台を一緒に使って活動し, 互いの活動について間近で見ることができるようにする。

(自分の感覚や行為を通して, 形や色などに気付く。)

- ・ ローラーと版を使って型紙版画をすることを通して, 版の形や色に気付く。
- ・ 版の形や色から心の中につくり出した像を基に, つくりたい版の形や色に気付く。

形や色などを基に, 自分のイメージをもつ。

- ・ 写した版の形や色の様子を基に, 自分が表したいイメージをもつ。

色や版の重ね方等で困っている児童に声がけをして, 友達や友達の作品と関わって解決していきけるようにする。

版の置き方や刷り方等について児童の気づきや工夫した表現を見付け, そのよさを他の児童にも紹介する。

自分の表したいことに合わせて凹版か凸版や色を考えている子が多く, 友達の凹版凸版を見ることを勧めた。

鑑賞する

- ・ (自分たちの作品や身近な材料などの造形的な面白さや楽しさ, 表したいこと, 表し方などについて, 感じ取ったり考えたりし, 自分の見方や感じ方を広げること。)
- ・ 自分や友達の作品の面白さや楽しさ, 表し方について, 感じ取ったり考えたりし, 自分の見方や考え方を広げること

友達の作品と並べて, お互いの作品の面白さやよさについて感じ取ったり考えたりしたことを話したり聞いたりする場面を設ける。

2 研究内容及び具体的な研究活動について

① 視点を明確にした言語活動の設定

新学習指導要領を基に「資質・能力
についての三角の図」を作成

話合いの視点を設定

活動の見通し
をもつ

言語活動の充実

自分の行為や活
動を振り返る

2 研究内容及び具体的な研究活動について

① 視点を明確にした言語活動の設定

ア 活動の見通しをもつための言語活動

児童の気付きを取り入れながら，視点が明確になるように板書や発問の工夫をする



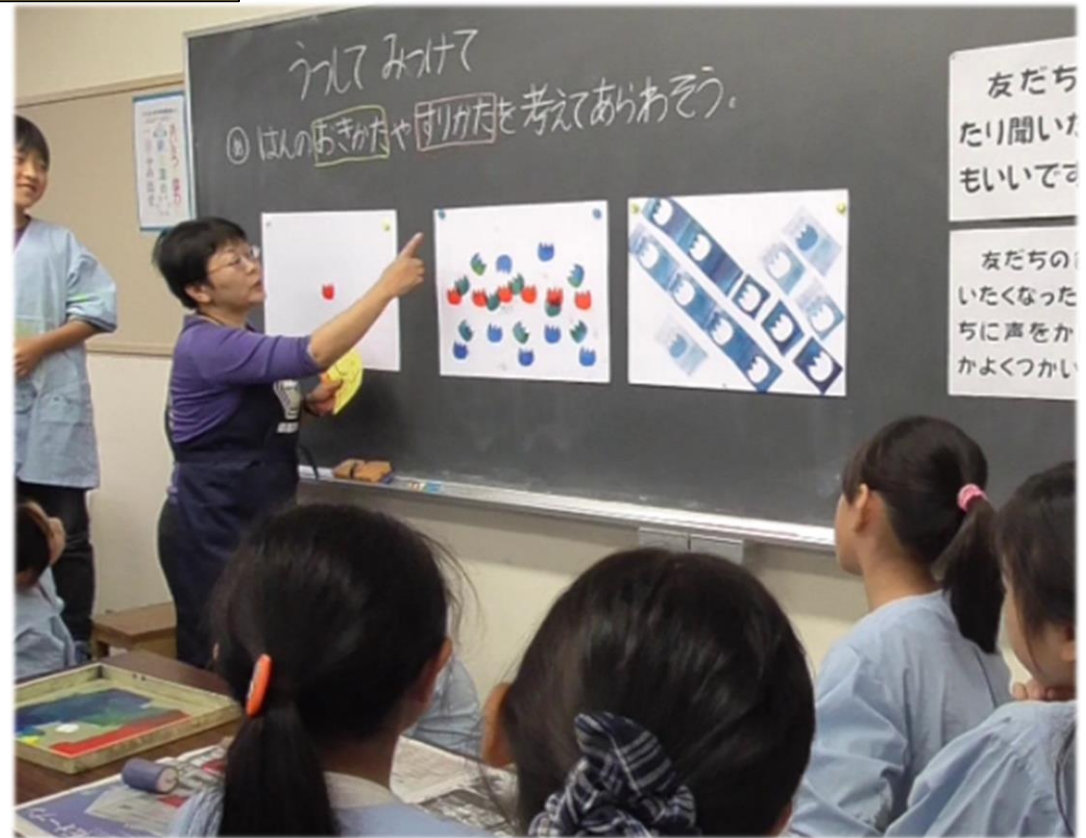
「思考力，判断力，表現力等」
（発想や構想）の育成

2 研究内容及び具体的な研究活動について

① 視点を明確にした言語活動の設定

ア 活動の見通しをもつための言語活動

第2学年 題材名「うつして見つけて」(絵)



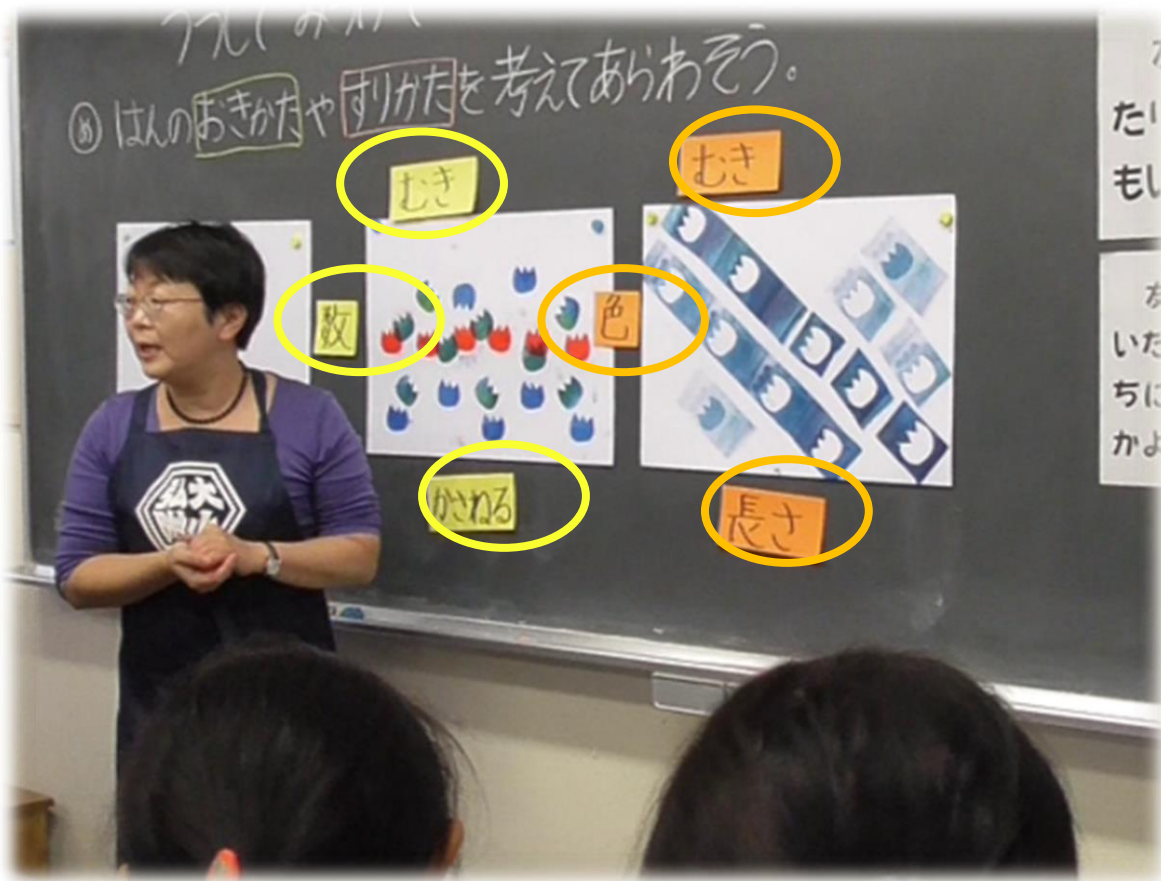


2 研究内容及び具体的な研究活動について

① 視点を明確にした言語活動の設定

ア 活動の見通しをもつための言語活動

第2学年 題材名「うつして見つけて」(絵)



おきかた

- 版の向き
- 数（多く，少なく）
- 重ねる

すりかた

- 刷る方向
- 刷る色
- 長さ（長く，短く）

2 研究内容及び具体的な研究活動について

① 視点を明確にした言語活動の設定

ア 活動の見通しをもつための言語活動

第2学年 題材名「うつして見つけて」 (絵)

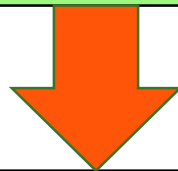


2 研究内容及び具体的な研究活動について

① 視点を明確にした言語活動の設定

イ 製作途中の鑑賞を基にした 発想や構想につながる言語活動

製作の途中の段階で友人と作品を交流し，そこでの気づきを基に話したり聞いたりする場面を設定



「思考力，判断力，表現力等」
（発想や構想）の育成

2 研究内容及び具体的な研究活動について

① 視点を明確にした言語活動の設定

イ 製作途中の鑑賞を基にした発想や構想につながる言語活動

第2学年 題材名「カッターナイフタワー」(立体)

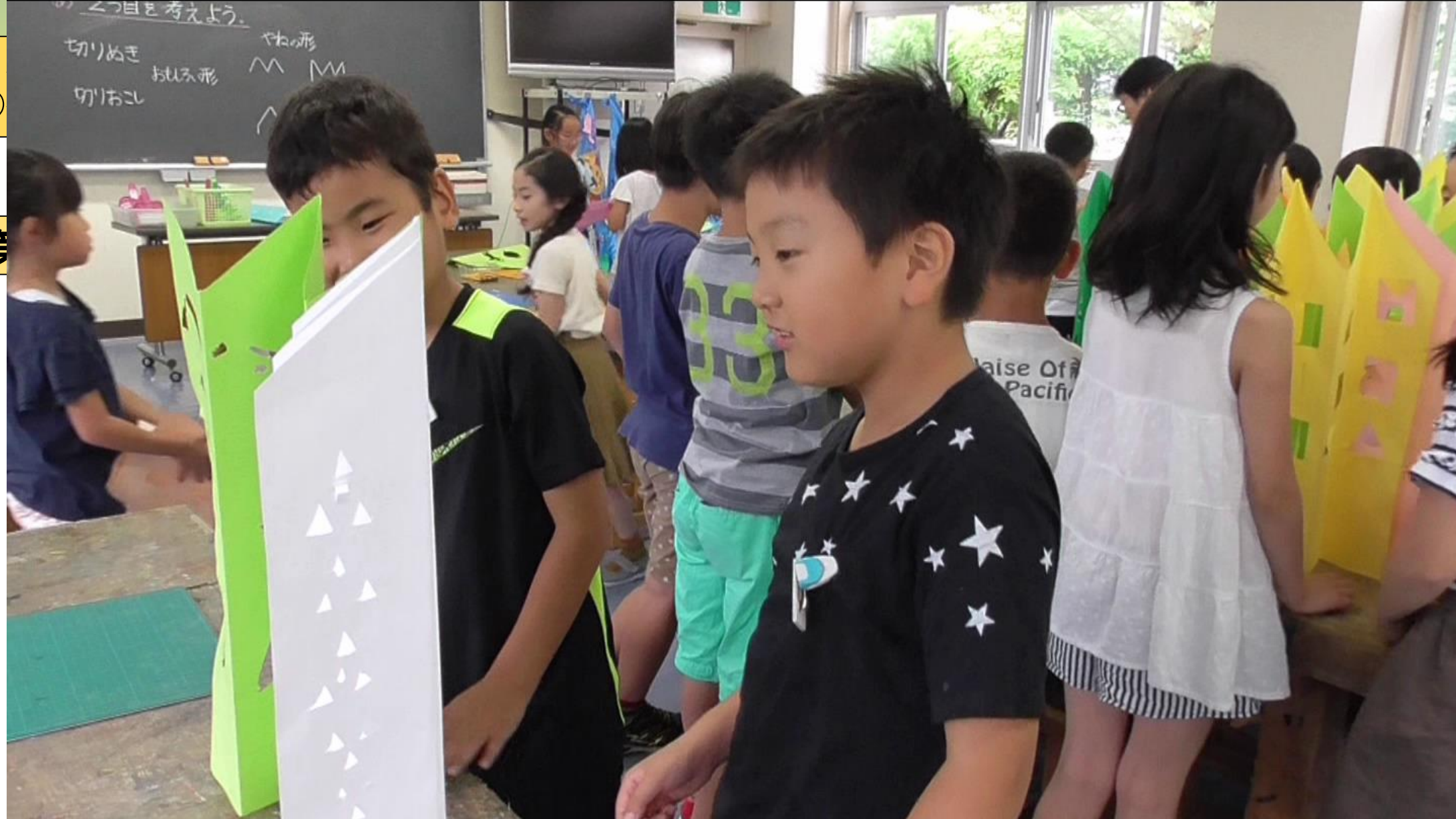


2

①

イ

第



2 研究内容及び具体的な研究活動について

① 視点を明確にした言語活動の設定

イ 製作途中の鑑賞を基にした発想や構想につながる言語活動

第2学年 題材名「カッターナイフタワー」（立体）



切る形

- お花が開くように切っていてきれい。ひまわりみたい。
- くねくね切るのが私には難しかったけど、〇〇さんは、上手にできていた。 等

色

- 合わせたら夜のタワーみたいになった。
- 黄緑と薄むらさきでお花みたいになった
- 黄色が、テーマの「きらきらタワー」に合っている。 等

高さ

- 少し低くした方がいいかなあ。
- 高いと高いでもいいんだけど、高いと低いだと見えやすくていい。 等

2 研究内容及び具体的な研究活動について

① 視点を明確にした言語活動の設定

アンケート（11月）から

友だちと話し合うと、自分のことも友だちのこともいろいろ知れて、「ここをまねようと思うから。」

友だちと話し合うと、自分のことも友だちのこともいろいろ知れて、ここをまねしようと思う

自分のにないところや、アイデアがでるからです。

自分のたりないところや、アイデアが出る

みんなのいいところがみんなにつたわるから
みんなの「こうしたら、ああしたら」というアドバイスがあるから

みんなの意見がみんなに伝わる
みんなのこうしたら、ああしたらというアドバイスがある

作品を見てみんなと話すとき、アイデアがどんどんふくらんでいくから。

作品を見てみんなと話すときアイデアがどんどんふくらんでいく

作品を見て話し合うと自分が考えていた作品に少し手をおかえられるし、
ちにおかえてもらう。たことを友だちにアドバイスできるから。

作品を見て話し合うと自分が考えた作品に少し手をくわえられるし、教えてもらったことを友だちにアドバイスできる

2 研究内容及び具体的な研究活動について
②多様性を踏まえた題材の設定

② 多様性を踏まえた題材の設定

ア 材料や用具の工夫
イ 活動する場の工夫



2 研究内容及び具体的な研究活動について
②多様性を踏まえた題材の設定

② 多様性を踏まえた題材の設定

これまでの各題材で使用了た材料や用具についてまとめた題材シートを作成

教師が児童の
経験を把握

題材を構成

材料や用具の
種類や数

活動する場等
の設定

2 研究内容及び具体的な研究活動について

②多様性を踏まえた題材の設定

2年

項目	題材名	主な材料	主な用具	作品
工作	くっつきマスコット	紙粘土	筆	題材のつな がれ(100)
		絵の具		
		磁石		
立体	ギュッとしたい わ たしの「お友だち」	クラフト紙	はさみ	題材のつな がれ(100)
		接着剤		
		絵の具		
造形遊び	カラフルカップ	カラーセロハン		題材のつな がれ(100)
		透明容器		
絵	ふうせんスタンプ	風船		題材のつな がれ(100)
		画用紙		
		絵の具		
工作	コロコロ大作戦	色画用紙	電池	はさみ
		空き容器		
		ビー玉		
立体	ひみつのグアナコ	粘土	粘土板	粘土べら

作品



材料	材料	用具	用具
カラーペン	粘土	1 はさみ	3
絵の具	4 紙粘土	1 カッターナイフ	1
クレヨン	0	カッターマット	1
パス	0	粘土板	1
インク	1	段ボールカッター	0
	くぎ	0 目うち	0
	板	0 粘土べら	1
	角材	0 のこぎり	0
セロハンテープ	0	きり	0
両面テープ	0 空き容器	1 かなづち	0
ビニルテープ	0 空き箱	0 紙やすり	0
のり	0 牛乳パック	0	
接着剤	2 ペットボトル	1	
	ペットボトルのふた	0 水彩用具	0
	紙テープ	0 絵の具	0
	竹ひご	0 筆	1

2 研究内容及び具体的な研究活動について
②多様性を踏まえた題材の設定

ア 材料や用具の工夫

材料や用具の種類や数の精選



「知識及び技能」の習得

2 研究内容及び具体的な研究活動について

②多様性を踏まえた題材の設定

ア 材料や用具の工夫

第3学年 題材名「集まれ、バネバネくん」(工作)

バネの材料

- 色画用紙
- 厚口造形紙
- 厚口のケント紙
(それぞれ3種類の太さ)

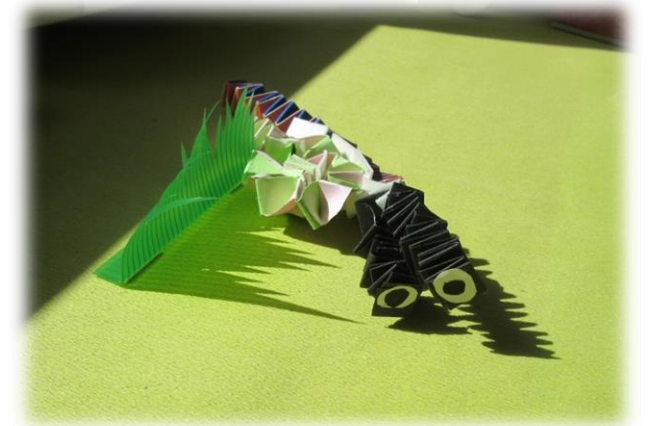
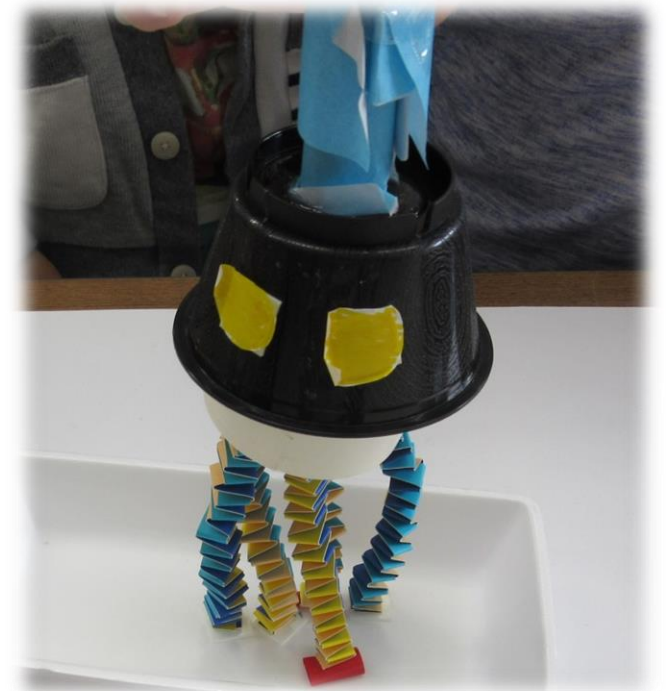


2 研究内容及び具体的な研究活動について

②多様性を踏まえた題材の設定

ア 材料や用具の工夫

第3学年 題材名「集まれ、バネバネくん」(工作)



2 研究内容及び具体的な研究活動について

②多様性を踏まえた題材の設定

ア 材料や用具の工夫

第2学年 題材名「うつして見つけて」（絵）



2 研究内容及び具体的な研究活動について

②多様性を踏まえた題材の設定

ア 材料や用具の工夫

第2学年 題材名「うつして見つけて」（絵）

課題

刷る時の適切なインクの量
やローラーの使い方が、身に
付いていない。



2 研究内容及び具体的な研究活動について

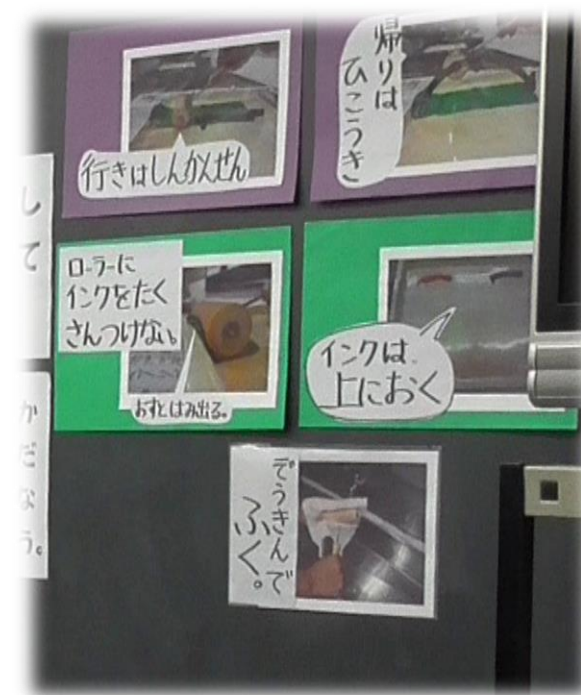
②多様性を踏まえた題材の設定

ア 材料や用具の工夫

第2学年 題材名「うつして見つけて」(絵)

改善点

- ・インクの容器の工夫
(一回に出る量を一定に)
- ・ローラーの使い方を常に黒板に掲示



2 研究内容及び具体的な研究活動について

②多様性を踏まえた題材の設定

ア 材料や用具の工夫



2 研究内容及び具体的な研究活動について
②多様性を踏まえた題材の設定

イ 活動する場の工夫

自然に友人と関わる機会が増えるような場の工夫



「知識及び技能」の習得
「思考力, 判断力, 表現力等」の育成

2 研究内容及び具体的な研究活動について

②多様性を踏まえた題材の設定

イ 活動する場の工夫

第6学年 題材名「伝えたい気持ちを箱につめて」（工作）

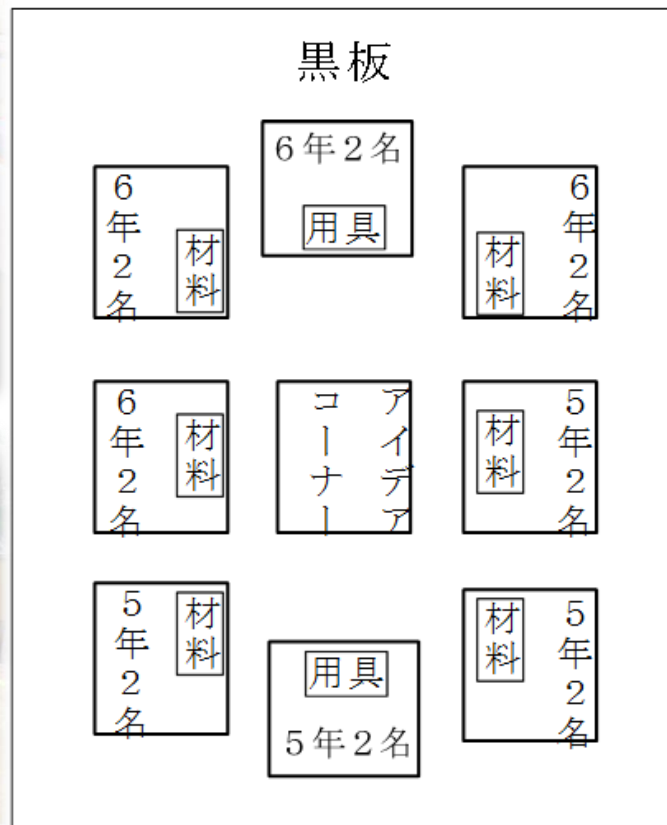


図1 場の設定



2 研究内容及び具体的な研究活動について

②多様性を踏まえた題材の設定

イ 活動する場の工夫

第3学年 題材名「集まれ、バネバネくん」（工作）



2 研究内容及び具体的な研究活動について

②多様性を踏まえた題材の設定

イ 活動する場の工夫

第3学年 題材名「集まれ、バネバネくん」(工作)

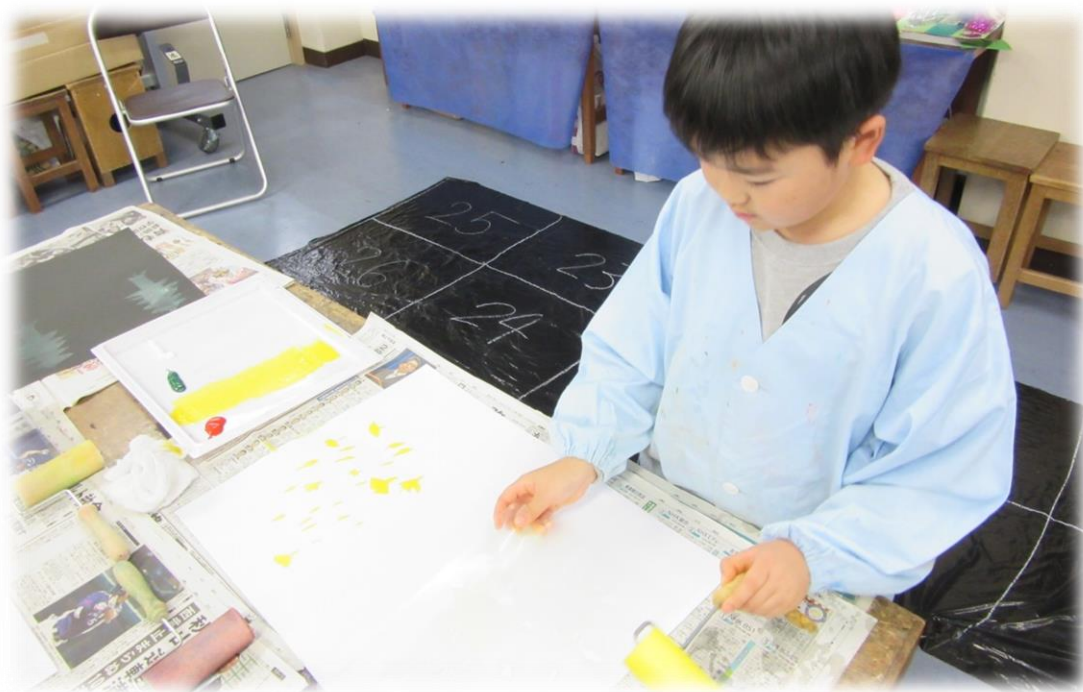


2 研究内容及び具体的な研究活動について

②多様性を踏まえた題材の設定

イ 活動する場の工夫

第2学年 版画や立体で表す授業



成果

視点を明確にした言語活動の設定

○題材やその時間で大切な視点を板書や発問で
明確にした言語活動



活動の見通しをもつ
→「思考力，判断力，表現力等」の育成

3 成果と課題

成果

「資質・能力についての三角の図」を作成

○児童が自ら気付いたり身に付けたりするようにしたい内容と，教師が教えるべき内容が明確になる。



教師の手立てを考えること

3 成果と課題

成果

多様性を踏まえた題材の設定

○用意する材料や用具の精選



材料から捉えた形や色などの感じを
基に表し方を工夫する

→「知識及び技能」の習得

成果

多様性を踏まえた題材の設定

○活動する場の工夫



友人と関わる機会が増え，材料や用具の使い方，
表し方の工夫などの共有につながる

→ 「知識及び技能」の習得

「思考力，判断力，表現力等」の育成

3 成果と課題

成果

「題材シート」を作成

○教師が、児童の前学年までの材料や用具の経験を把握すること



新しい題材の設定，指導の手立て

3 成果と課題

課題

効果的な場面での言語活動の設定

「学びに向かう力，人間性等」について

絵や立体，工作
（低学年）

うっして見つけて（2年，絵）

発想や構想をする

- ・（感じたこと，想像したことを表現したいことを見付けること。）
- ・版の形や色を基に感じたり想像したりすることから，表現したいことを見付けること
- ・（好きな形や色を選んだり，いろいろな形や色を考えたりしながら，どのように表すかについて考えること。）
- ・好きな形や色を選んだり，いろいろな形や色を考え加えたりしながら，どのように表すかについて考えること。

A表現(1)

発想や構想

（自分の感覚や行為を通して，形や色などに気付く。）

- ・ローラーや版を使って型紙版画をすることを通して，版の形や色に気付く。
- ・版の形や色から思い浮かべたり想像した像を基に，つくりたい版の形や色に気付く。

〔共通事項〕(1)ア

（形や色などを基に，自分のイメージを表現する。）

- ・写した絵の形や色を基に，自分が表現したいイメージをもつ。

〔共通事項〕(1)イ

技能を働かせて表す

- ・（身近で扱いやすい材料や道具に十分に慣れる。）
- ・ローラーや版を使って型紙版画を表現する。
- ・（手や体全体の動きや姿勢を調整して，表現したいことを基に表現方を工夫して表すこと。）
- ・ローラー遊びで試しながら，表現したいことを基に版を繰り返したり重ねたり反転させたり工夫して表す。
- ・版画の形や色を基に感じたり想像して思い付いたことを，クレヨンでかき加えて工夫して表すこと

A表現(2)

技能

鑑賞する

- ・（自分たちの作品や身近な材料などの造形的な面白さや楽しさ，表現した方法などについて，感じ取ったり表現した方法や自分の見方や感じ方を広げること。）
- ・自分や友達の作品の面白さ，表現方法について，感じ取ったり表現した方法や自分の見方や考え方を広げること

B鑑賞(1)

鑑賞

題材名（学年）

A表現(1)
発想や構想

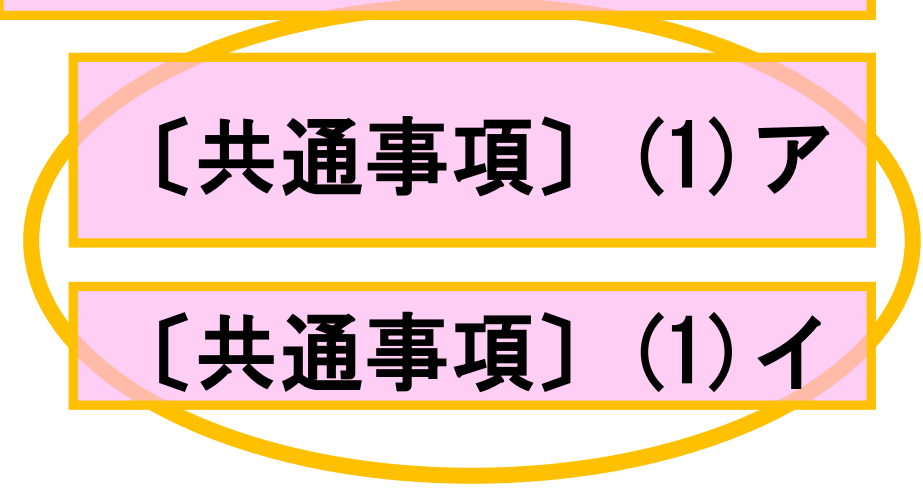
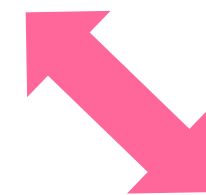
〔共通事項〕(1) ア

〔共通事項〕(1) イ

A表現(2)
技能

B鑑賞(1)
鑑賞

「学びに向かう力，人間性等」



3 成果と課題

課題

効果的な場面での言語活動の設定

「学びに向かう力，人間性等」について

見通しをもつための掲示の仕方や板書の工夫

今後の取組

- ・ 課題を基に研究内容を継続
- ・ 実践の成果と課題
→ 研究紀要, 公開研究発表会, ホームページ

協議したいこと

- 言語活動が有効に働いた実践例
- 児童が見通しをもつために, 板書で工夫している点

